
リサイクルおばあちゃん。

国後旺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リサイクルおばあちゃん。

【Zコード】

Z7213E

【作者名】

国後旺

【あらすじ】

今年で八十一歳になる寿子「としこ」は、バスの中で痴漢に遭う。
その痴漢は寿子の臀部を鷲掴みにしながらこう言つた。「若返らせ
てやひうか」と。この作品は、一部老人を虐待する描写を含みま
す。苦手な方はご注意下さい。また、一部に性描写も含みます。苦
手な方は「注意下さい」（R-15・SFホラー）

ある日のバスの中で、

『さわやわ』

「さやつ」

寿子は痴漢に遭った。

痴漢に遭った寿子は、今年でハ二十一歳になる。

その顔は使い古した雑巾のようにシワシワで、体の方も、胸は垂れまくり、臀部も垂れまくりである。

その為に痴漢とも最早無縁だったからか、痴漢に遭つて少し嬉しいらしい。

痴漢は、寿子の垂れ下がつた臀部を鷲掴みにしながら、小さな声で寿子の耳元に囁いた。

「垂れまくりだねえお婆ちゃん」

寿子はちょっとムッとした。

「若い頃はねえ、若い頃はねえ」

憤慨だと言わんばかりに、痴漢を睨み付ける寿子。

すると痴漢は、寿子が思つていいよりもずっと若く、小学五年生くらいの男の子だった為、寿子は思わず感嘆の表情を浮かべた。

「じゃあ魔法で若返らせてあげよつ」

そう言つと痴漢は、臀部を触る速度を猛烈にあげた。

「あへえ。あへえ」

それに対して、寿子は興奮した。

するとどうだろう。寿子はみるみる内に若返り、胸は張りを取り戻し、臀部は張りを取り戻し、顔からシワが消滅し、寿子はまるで二十代後半の美女に姿を変えてしまったのだ。

するとどうだろう。寿子の喘ぎもそれに合わせてか、

「あん。あん。あん。あん」に変わったのだ。

するとどうだらう。その寿子の喘ぎに誘われてか、まるでエサにたかる豚のように、大勢の乗客が寿子の体のありとあらゆる所を触つたり、男の大事な肉棒を寿子の服を剥いで、押し付けたり、寿子の口の中へと、ぶち込んだりをしてきたのだ。

するとどうだらう。寿子は恥ずかしさと、もう諦めていた刺激を与えて、数十年か振りに快感によつて致してしまつたのだ。

快感の余韻に浸り、全裸で床に墜ちる寿子。それでも寿子を貪る、豚な乗客達を捌けさせた最初の痴漢は、寿子をお買い得商品を見る目で見た。

そして薄ら笑いを浮かべながら、こう一人呟いた。

「現在では老人など何の役にも立ちはしない。だから私が若返らせて、世の中の変態どもに売り払つといつこの計画。素晴らしいと思わないか寿子さん。リサイクルしてやろうと言つことだ」

言い終えると、痴漢は着ているジャージのポケットから、直径約三センチ程の丸く赤いカプセルを取り出して、放心状態の寿子のお腹辺りに向けて落とした。

するとどうだらう。寿子は数秒間、体を赤く点滅したかと思つと、一瞬にして姿を消してしまつたのだ。

「寿子さん、ゲットだぜ。…なんてね」

数分後。バスに乗つていた乗客全員が、同じバス停に降りた。

更に数分後。あの痴漢はカプセルを見つめながら、無表情でこう言つた。

「ありがとう、寿子さん。貴女はとても『上質』なお婆ちゃんだつた」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7213e/>

リサイクルおばあちゃん。

2010年10月21日21時33分発行